



人権集会 12月1日(金)

人権週間の意義を知らせ、自分の立場や相手の立場を理解できるよう、そして自分たちの身近のことに気付き行動に移すことができるよう、今回の人権集会を計画しました。スローガンは、「人権について知ろう、考えよう、行動しよう」です。内容は下記のとおりです。



- 歌「ゆうきのうた」 (すてきな歌です。休み時間に、口ずさんでいる子供たちがありました。)
- 校長の話 ・3つの「あ」の取り組み：深く考える（自分からみてどうか、相手からみてどうか）
 - ・6月に紹介した「5つの誓い」（口・耳・目・手足・心の使い方）
 - ・相手を人として大切にするために（名前を呼ぶときは、呼び捨てにせず、～くん、～さんを付けて）
- クラスのなかよし宣言の振り返りや取り組みの紹介
- アクティビティ「同じシール、集まれ！」

(おしゃべりしないというルールを守り、相手に伝えることの難しさを実感した。協力することの大切さを学んだ。)

○「南島原市人権標語」推薦作品の紹介 (全校児童の前で堂々と発表しました)

- | | |
|----|-------------------------|
| 1年 | ありがとう そのひとことを たいせつに |
| 1年 | みんなちがう だからせかいは おもしろい |
| 2年 | ぼくらしく みんなの中でも かがやくよ |
| 2年 | わたしの気もち あなたの気もち どっちもだいじ |
| 3年 | みとめ合い 思いやりの心で 手をつなごう |
| 4年 | 勇気出し 心のことば 大声で |
| 4年 | 少しの変化 よく見て気づいて 助けるよ |
| 5年 | ネットより 自分のはんだん 信じよう |
| 6年 | スマホより 目と目を合わせて 話そうよ |
| 6年 | 許せない 人をいじめて 笑う人 |



深江小学校が取り組んでいる3つの「あ」について、自分から見てどうか、また、相手から見てどうかと深く考えることが大切である。6月に「教育週間」の講話の中で話した「命の大切さ、仲間の大切さ、生きることの素晴らしさを伝えよう、あらゆる人に感謝しようと思った腰塚勇人さんの「5つの誓い」を確認しよう。これらの取り組みを実践することは、人権学習を積み重ねていることにつながる。

209名の児童が、学校・家庭・地域で、これまで以上にお互いが笑顔で会話を交わしたり、仲良く生活したりすることを切に望みます。(校長の話:抜粋)

3年生消防署見学 11月21日(火)

社会科で地域の学習を主に行っている3年生。今回は「くらしを守る」という単元で、南島原消防署を見学しました。子供にとって興味があるのは、消防車両だったようです。消防自動車の特別なつくりについて説明を受けたり、煙の広がり方や避難の仕方、消火器の使い方を学んだりしました。



事前に授業で勉強していましたので、多くの質問をし、実際に説明を受けるなかで、熱心にメモなどをとり、学びを深めました。

改めて、地域の人々の安心・安全を願い、命を守る仕事をしている消防士や救命救急士の方々へ感謝の気持ちを抱いていました。



2年生 おもちゃ大会 11月28日(火) ～ 相手を大切に交流 ～

おもちゃ大会を開くまでに、2年生はおもちゃ作り、あそびの仕方のリハーサル、説明の練習、招待状づくり、部屋の飾り付けなど、準備に多くの時間をかけたと思います。しかし、そこには、友達や先生との対話があり、試行錯誤の連続ではなかったかと思います。自分たちが作った大切なおもちゃあそびについて、相手に伝わるような話し方(声の大きさ、はっきりした発音)で説明する2年生。また、あそびの仕方を正しく理解するために、静かに聞く1年生。

たくさんのコーナーを順番に回り、1・2年生がお互いに会話を交わしながら楽しみました。また、心温まる手作りのメダル等のプレゼントをもらう1年生はニンマリと笑顔があふれていました。



6年生 ふるさと発見ツアー 11月28日(火)

島原半島の形成を伝える龍石海岸地層、そして日野江城跡を見た後、有馬キリシタン遺産記念館と原城跡を見学しました。

龍石海岸の地層からは、3つの地層(①島原半島が海だった頃に堆積した地層、②雲仙火山の噴火活動による地層、③雲仙火山から流れた土石流による地層)を同時に見る事ができるそうです。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の「原城跡」は島原・天草一向一揆の舞台となりました。「有馬キリシタン遺産記念館」にある史料や映像を見た後、実際の「原城跡」を観光ガイドの案内で、詳しい説明を受けながら見学しました。江戸時代、キリスト教の伝来、繁栄、弾圧の歴史をもつ「原城跡」「日野江城跡」の二つの史跡は、歴史的価値があり、子供たちにとって新しい学びとなるとともに、興味をもった児童も多かったのではないのでしょうか。

私たちが暮らす島原半島・南島原には、地学的にも歴史的にも貴重な自然、史跡が残されています。そこには、様々な人々が魅力を感じ、訪れる人が絶えません。そして、人と人とのつながりを育みます。



1年1組・3組学級部会合同のヤクルト講話(健康教室)より 12月5日(火)

学級部会に3名の講師をヤクルトからお招きし、健康教室を行いました。「早ね・早おき・朝ごはん・朝ウランチ」をテーマとして、健康のため、正しい食習慣・生活習慣を身に付けてもらうことを目指して開催されました。

ウランチの状態から、食べ物の栄養素を吸収する腸の大切さ、腸における乳酸菌のはたらきについて説明され、よいウランチを出すための生活習慣について、クイズ・映像を交えながら伝えていただきました。

健康のサイン「いいウランチ」

【毎日出る、いきまずスルツと出る、量はバナナ2・3本、一日分の重さが200~300g、形はバナナ状~練り歯磨き状、ニオイがきつくない、水に浮く、色は黄色がかった褐色】

① ウランチを作るチカラ……バランスのとれた食生活を心がけましょう!

なかでも、野菜・キノコ・いも・海藻などの食物繊維は、ウランチの量を増やす。

② ウランチを育てるチカラ……善玉菌優位の腸内環境を作りましょう!

乳酸菌飲料やヨーグルト、オリゴ糖、食物繊維を摂ると、腸内に善玉菌が増える。そして、いいウランチが育まれる。

③ ウランチを出すチカラ……腸の周りの筋肉を鍛えましょう!

腸の筋肉が衰えると、腸の動きが鈍くなり、ウランチが細くなる。太くていいウランチを出すためには、腸の体操がよい。

